

JP2001114669

**Title:**

**CAPSULE FOR ELIMINATING DYSPAREUNIA**

**Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a body fluid-dissoluble capsule encapsulating a quite non- harmful liquid lubricant which is used for eliminating dyspareunia and good for health. **SOLUTION:** This capsule for eliminating dyspareunia is obtained by sealing an already melted liquid lubricant in a dissolvable hard capsule container which can be dissolved in a body fluid within two or three minutes, when brought into contact with the body fluid.

(19) 日本特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-114669

(P2001-114669A)

(43) 公開日 平成13年4月24日 (2001.4.24)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 6 1 K 9/48

識別記号

F I

A 6 1 K 9/48

データベース (参考)

4 C 0 7 6

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号

特願平11-327329

(22) 出願日

平成11年10月13日 (1999.10.13)

(71) 出願人 599161753

松野 光延

東京都足立区新田 3 丁目 22 番 6 号

(72) 発明者 松野 光延

東京都足立区新田 3 丁目 22 番 6 号

Fターム (参考) 4C076 AA54 B830 DD80W FF56

FF57

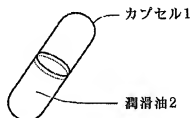
(54) 【発明の名称】 性交痛を解消する為のカプセル

(57) 【要約】

【課題】 性交痛を解消する為に、健康に良好で全く無害な液体潤滑油の入った体液溶解性のカプセル。

【解決手段】 体液にふれると 2〜3 分で溶ける溶解性ハードカプセル容器を用い、その中にすでに溶けている液体潤滑油を封じこめ密封したものである。

斜面図



## 【特許請求の範囲】

性交痛を解消する為の潤滑油が入ったカプセル容器

## 【発明の詳細な説明】

この発明は性交痛を解消する為の潤滑油を封じ込めたカプセルに関するものである。同目的の従来からある物はゼリー状のもの、座薬状のものがある。ゼリー状のものは、わざわざポンプ等の器具を使用して女性の膣に注入する必要があり、大変煩わしく女性の心理的負担が多い。さらに、器具による注入のし易さを前提とするために、最適な潤滑性能や粘性を持たせることが困難となり、十分に性交痛を解消することが出来ないだけでなく乾き易く途中で再注入の必要がある。さらにゼリー状潤滑剤の長期保存のために添加される防腐剤が女性の膣に与える健康面での問題は充分な安全性に対する検討がなされていない等の多くの解決すべき問題があった。本発明によれば、体液溶解性のある無害なカプセルを女性の膣に挿入するだけで器具の使用は全く必要ではなく、煩わしさも心理的負担も全くない。また、カプセル内に封じ込める油状液体は最適な量と潤滑性能や粘性を持たせることが容易であり、さらには無菌状態でカプセルに封入することが出来るため防腐剤の必要が無く、人体に有益な油状液体を任意に選択することが可能となりゼリー状潤滑剤の解決すべき全ての問題を解決した。座薬状の

ものは、常温では固体であり、容易に女性の膣に挿入可能であり、挿入30℃～36℃の体温程度の温度で粘性液体に変化する温度依存性の物質であるが、膣内での溶解に20分～30分もひつようであり、膣内に残留している未溶解の固体はとて硬くその時点で性の交は男女共に怪我の恐れがある。また室温が30℃を超えるような夏季に於いては、最初から溶解してしまい、使用不可能となる。本発明によれば、体液溶解性の無害なカプセルの溶解速度は女性の膣内に於いて2分～3分であり、膣内に挿入された時点から直ちに軟化し始め全く怪我の心配は無い。またカプセルには温度依存性は無く、いかなる季節に於いても問題は生じない。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】は液体の潤滑油2が体液溶解性のハードカプセルによって封じこめられている全体図を示す。

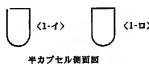
【図2】では潤滑油をカプセルの中に入注する時、2つの半カプセルのうちの1つ〈1-イ〉に潤滑油を注入し、もう一つの半カプセル〈1-ロ〉はそのフタとなる。〈1-ハ〉はその半カプセルを上から見た断面図である。

【図3】は潤滑油の注入が終わって出来上がった側面図である。

【図1】



【図2】



【図3】

